

## 城北地区

まちづくり協議会

■ 設立日

平成26年4月19日

■ 人口・世帯数

3,784人・1,604世帯  
(基準日:令和3年10月1日)

■ 区域

亀田町、羽若町、住山町、  
アイリス町

■ めざす姿

心も体も元気で、誰もが輝く活  
力あふれるまち

■ 地域の誇り

子育ての世代の若い力が地域に  
あふれている



城北地区まちづくり協議会は、総人口の約18%が14歳以下と、子どもの割合が多い地域です。平成28年度には、より若手の意見を取り入れようと、夏まつりを中心にイベント内容の見直しを行いました。見直し前は役員を含め参加者250名ほどだった夏まつりも、地域の中学生の手伝いもあり、今や参加者400名を超える地域の一大イベントとなっています。

そのほか、地域の小学生による城北大会や、ものづくりを楽しむふれあい交流会、ソフトボール大会、

敬老会、文化祭など、多くのイベントを開催し、地域住民の親睦を深めています。また、地域の人の手作り雑貨を提供する場を設け、コロナ禍においては手作りマスクを求めて、ほかの地区からも人が訪れるなど、嬉しい反響がありました。

本年度は、コミュニティセンター周辺の花壇の整備や清掃など、美化活動にも力を入れており、今後も地域に足りないものを補いながら、これまでの活動も柔軟に変化させ、より活力ある地域を目指していきます。



## 御幸地区

まちづくり協議会

■ 設立日

平成28年4月23日

■ 人口・世帯数

782人・406世帯  
(基準日:令和3年10月1日)

■ 区域

東御幸町、御幸町

■ めざす姿

生活環境が良く、安全安心に暮  
らせるまち

■ 地域の誇り

亀山機関区時代の名残である電  
動転車台や給水塔



御幸地区まちづくり協議会は、例年、地域住民の親睦を深める活動として感謝のつどい、文化祭、ふれあい小旅行を実施しており、それぞれ担当部が主催し、子どもから大人まで楽しめる“御幸の三大イベント”として定着しています。

また、住民の命や暮らしを守る活動として、福祉と防災に重点を置いており、福祉活動では、福祉委員による高齢者見守り訪問を年に6~8回実施し、対話を通して心身の健康状態などについて伺っています。

防災活動では、住民の防災意識の向上や避難体制を整備するた

め、避難マニュアル家庭版の全戸配付、避難誘導訓練、避難用テントやけん引装置付き車いす等の防災備品の充実を図っています。さらに、いざというときのために、ここ数十年は、防災世帯台帳を毎年更新するなど積極的に取り組んでいます。

本年度は、コロナ禍で活動を縮小せざるを得ない状況ですが、十分な感染対策を講じた上で創作教室を開催し、小・中学生7人が、「伊勢型紙の色紙づくり」を初めて体験したほか、福祉環境部員が中学生15人と合同で除草作業を実施するなど、工夫しながら事業を実施しています。

